



てんかんセンター巡り 第15回

EpiCenter せいれい 聖隸浜松病院てんかんセンター

施設概要

住 所 〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉2-12-12
電 話 053-474-2222(代表)

診 療 科 てんかん科(成人てんかん、てんかん外科治療)
小児神経科(小児てんかん)
診 療 時 間 月曜~金曜 午前・午後 土曜 午前(学童の再診のみ)
てんかんモニタリング専用病床 8床
日本てんかん学会専門医数 6名

スピード感あふれる 包括的てんかん診療

聖隸浜松病院は、静岡県西部エリアの中核的な医療施設として、半世紀にわたり地域の皆さまのご支援をいただいてまいりました。2008年に院内の診療体制を集約し、「てんかんセンター」を開設しました。東海地域のみ

ならず、遠方から来院される患者さんが増えしており、さらに診療内容を充実させるべく、スタッフ一同、はりきっております。

「てんかんセンター」外来は、周囲の診療エリアから独立しており、専用の受付、待合、診察室をご利用いただけます。さらに、総合病院のメリットを活かし、合併疾患についても院内他科の協力を得て、ひとつの施設の中で全



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

身について医療を提供することが可能です。

2016年6月には、「てんかんモニタリング専用病床」を新設しました。24時間連続でビデオと脳波を同時に記録し、ネットワークで院内各所から発作の状況をリアルタイムで確認することができます。この他、小児専用病床とICUを完備しています。

当センターの特徴は、(1) 小児から成人まで幅広い年齢を対象としており、小児期から成人期への移行についてもセンター内でスムーズに対応できます。(2) 脳画像検査(MRI、PET、SPECT)、長時間ビデオ脳波モニタリング、頭蓋内脳波に対応しています。高密度脳波では256個の脳波電極を使用し、診断精度が飛躍的に向上しました。(3) てんかん外科は年間80件(2015年実績)で、日本でトップクラスです。(4) 迅速な対応を心がけています。診断から治療完結まで、時間との勝負です。1日でも早く回復し、支障なく社会生活を送っていただきたいと考え、スピードを重視した診療を提供しています。

新しい取り組み

日本では、2010年に「迷走神経刺激療法(VNS)」が始まりました。当センターではVNSを積極的に応用しており、全国最多の実績です。また、2014年には、院内に「結節性硬化症ボード」を設立しました。「ボード」という診療チームが、各科の連携を図ります。結節性硬化症では、てんかんの

他、全身の症状への対応が必須です。従来の臓器別の診療体制では多くの診療科を受診する必要があり、患者さんには大きな負担でした。「結節性硬化症ボード」では、われわれがコーディネーターとなり、効率的かつ機動的な医療を提供していきます。

さらに「Epi Passport(エピパスポート)」で、地域連携を積極的に進めています。患者さんは、ふだんは地元の施設を受診していたとき、当院へはパスポートを持って年に1、2回来院していただくシステムです。こうして、地元の医療施設と当院の間を緊密に繋いでいます。

このようなさまざまな仕組みを活用し、総合病院のてんかんセンターとして、初期診断からてんかん外科治療まで一貫した診療を提供しています。

(センター長 榎 日出夫)

